相対度数と 確率 ドリル⑤

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／定期テストの 形・25点／15分

ひづけ ＿＿＿＿＿＿ /25

・全部で 25点、時間は 15分。配点は 大問の 見出しに ある。
・数の 答えは 小数か 整数で 書く。説明は 罫線に、実験の 値を 入れて 書く。

大問1 実験の 結果から（9点＝(1)らん 1つ 1点・(2)3点・(3)3点）

(1) 画びょうを 投げて 上向きに なった 回数。相対度数の らんを 書く。

投げた 回数	100	500	1000
上向きの 回数	64	305	600
相対度数			

(2) (1)から 上向きに なる 確率を 見積もると？

(3) (2)の 見積もりで 3000回 投げると、上向きは およそ 何回？

大問2 正しいか 判定（8点＝各2点）

(1) 確率の 見積もりが 0.6 なら、10回 投げると 必ず 6回 上向きに なる。

ア 正しい イ 正しくない

(2) 5回 続けて 下向きが 出ても、次に 上向きが 出る 確率の 見積もりは 変わらない。

ア 正しい イ 正しくない

(3) 相対度数は、投げた 回数が 少ない ほど 確率の 見積もりに 近く なる。

ア 正しい イ 正しくない

(4) 上向きの 相対度数 0.6 なら、下向きの 相対度数は 0.4。

ア 正しい イ 正しくない

大問3 説明（8点＝実験の 値 3点・理由 3点・結論 2点）

Fさん「キャップは 表と 裏の 2通り だから、表が 出る 確率は 0.5」。1000回 投げて 表が 420回 だった 実験の 結果から 確率を 見積もり、Fさんの 考えが 正しいと いえるか 説明する。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

見直し □ 答えを らんに 数で 書いた □ 選ぶ 問題は 記号を ○ で かこんだ □ 説明に くらべた 値を 数で 入れた

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「データの活用」のプリント一覧がひらきます

相対度数と 確率 ドリル⑤【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中1／定期テストの 形・25点／15分

ひづけ ＿＿＿＿＿＿ /25

・全部で 25点、時間は 15分。配点は 大問の 見出しに ある。
・数の 答えは 小数か 整数で 書く。説明は 罫線に、実験の 値を 入れて 書く。

大問1 実験の 結果から（9点＝(1)らん 1つ 1点・(2)3点・(3)3点）

(1) 画びょうを 投げて 上向きに なった 回数。相対度数の らんを 書く。

投げた 回数	100	500	1000
上向きの 回数	64	305	600
相対度数	0.64	0.61	0.6

64÷100=0.64、305÷500=0.61、600÷1000=0.6

(2) (1)から 上向きに なる 確率を 見積もると？

0.6

いちばん 回数が 多い 1000回の 0.6

(3) (2)の 見積もりで 3000回 投げると、上向きは およそ 何回？

1800

3000 × 0.6 ＝ 1800

大問2 正しいか 判定（8点＝各2点）

(1) 確率の 見積もりが 0.6 なら、10回 投げると 必ず 6回 上向きに なる。

ア 正しい　イ 正しくない

およそ。必ずでは ない

(2) 5回 続けて 下向きが 出ても、次に 上向きが 出る 確率の 見積もりは 変わらない。

ア 正しい　イ 正しくない

前の 結果に 左右されない

(3) 相対度数は、投げた 回数が 少ない ほど 確率の 見積もりに 近く なる。

ア 正しい　イ 正しくない

回数が 多い ほど 安定する

(4) 上向きの 相対度数 0.6 なら、下向きの 相対度数は 0.4。

ア 正しい　イ 正しくない

上向き＋下向き ＝ 投げた 回数

大問3 説明（8点＝実験の 値 3点・理由 3点・結論 2点）

Fさん「キャップは 表と 裏の 2通り だから、表が 出る 確率は 0.5」。1000回 投げて 表が 420回 だった 実験の 結果から 確率を 見積もり、Fさんの 考えが 正しいと いえるか 説明する。

正しいとは いえない。表と 裏は 同じ ように 起こりやすいとは かぎらない。

1000回で 表は 420回、相対度数 0.42 なので、表の 確率の 見積もりは 0.42 で 0.5 より 小さい。

採点 420÷1000=0.42 を 書いて 3点／起こりやすさが 同じとは かぎらない に ふれて 3点／正しいとは いえない と 結論して 2点

採点 大問1(1)は らん1つ 1点。大問2は 記号で 各2点。大問3は 観点ごとに 部分点（言い方は ちがって いても よい）。
×の 問は 解き方プリントの 同じ Step に もどる。